

新年のご挨拶

新春を迎え、読者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。また平素のご厚情に深謝いたします。昨年、お陰様で通巻800号を発行させていただくことが出来ました。これもひとえに皆様のご支援によるものと、厚く御礼申し上げます。

『モダンメディア』を医学と公衆衛生に関する学術情報誌として1955年8月に創刊して以来、臨床検査に関わる話題や最新情報をさまざまな視点からご提供出来るよう内容の拡充に努めてまいりました。

現在、月間発行部数は5,300部を超え、扱うコンテンツは約30種類となりました。Web配信の充実などサステナビリティの視点から社会要請に応えられるよう努めております。今後も読者の皆様お一人お一人にご満足いただける『モダンメディア』の誌面づくり、最新情報のご提供に努めて参りますので、引き続きご愛読たまわりますようお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの国内流行は、寄せては返す波の如く第7波でこれまでにない大きな感染拡大となり、今年に入っても第8波に見舞われている状況です。また、ロシアによるウクライナ侵攻、資源高騰とインフレ、歴史的な円安など先行き不透明な状況も多く発生する中で、社会はデジタル化、グリーンをキーワードとする競争加速へと変容してきております。

しかし、世界中の人々の努力と英知の結集によって、ワクチンや治療薬開発などの感染対策や経済対策を通じてウイズコロナ／ポストコロナを前提とした社会や生活についても語り始められてきています。記憶に新しい2022年の漢字は「戦」であり、2023年の医療界を見通す漢字は「暗」ですが、2位に「明」、3位に「変」、8位に「望」、10位には「新」がランクインし、希望や変化、明るい兆しも感じられるようになりました。

弊社は“Saving Your Health”「ヘルスケアを通じて世界の人々の健康を守ります」の経営理念のもと、「がん」、「感染症」、「ヘルスケア」の3つの分野に重点をおき、医療従事者の皆様にご活用いただけるよう検査試薬・装置・システムの技術開発や製品改良に取り組み、検査薬のさらなる品質向上と安定供給に注力して参りました。今後ともより一層、皆様にご活用いただけるよう努力していく所存です。

さて、本誌恒例の新春放談2023年では、「タスク・シフト／シェアの今後：臨床検査に携わる者のあるべき姿」と題しまして、様々なお立場から臨床検査に携わる者にとっての現状、課題と今後のあるべき姿についてお伺いしております。

語り手として、大西宏明先生(杏林大学医学部 臨床検査医学教室教授／日本臨床検査医学会理事長)、小野佳一先生(東京大学医学部附属病院 臨床検査技師長)、丸田秀夫先生(佐世保中央病院 臨床検査技術部部长／日臨技代表理事副会長)、三浦ひとみ先生(東京女子医科大学病院 中央検査部技師長)、村田哲也先生(鈴鹿中央総合病院 副院長／病理診断科)、聞き手は、本誌編集委員長 矢富 裕先生(東京大学大学院医学系研究科 内科学専攻 病態診断医学講座 臨床病態検査医学分野教授)にご担当いただきました。

国主導でタスク・シフト／シェアが推進される中で、各領域・各行為での整理、実態調査結果を踏まえた今後の取り組みや可能性について幅広くご議論していただいておりますので、是非ご一読ください。

本年も、より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

そして、皆様方にとって素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2023年 元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

納 富 継 宣

